

## ■7月20日

国交省、2012年度、航空輸送統計、旅客数、前年度比8.7%増、国内線LCC就航路線大幅増

国交省は18日、2012年度の航空輸送統計を発表した。それによると、旅客数は前年度比8.7%増の8597万人となり、国内線の旅客数、前年度比9%増と6年ぶりに前年度を上回った。国際線も13%増と5年ぶりに増加し、東日本大震災の影響が一巡したほか、格安航空会社(LCC)の相次ぐ就航も旅客数を押し上げる要因になった。

国内線では、LCCが就航を開始した関西-新千歳線 9位(前回19位)、関西-那覇線16位(同21位)、成田-新千歳線 26位(56位)、成田-福岡線 30位(同61位)、成田-那覇線 40位(同66位)、関西-福岡線 46位(同82位) の旅客数が大幅に増加しており、LCCの新規参入が全体の旅客数増加に与えた影響も大きい、と分析している。

(レスポンス)7/19

<http://response.jp/article/2013/07/19/202511.html> (-> <http://response.jp/article/2013/07/19/202511.html>)

(日経)7/19

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC1901A\\_Z10C13A7PP8000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC1901A_Z10C13A7PP8000/) (->

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC1901A\\_Z10C13A7PP8000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC1901A_Z10C13A7PP8000/))

(国交省)7/18

輸送実績(概況) (-> <http://www.mlit.go.jp/k-toukei/search/pdf/11/11201200a00000.pdf>)

国内定期航空路線別索引 (-> <http://www.mlit.go.jp/k-toukei/search/pdf/11/11201200a00001.pdf>)



輸送実績.png

Portable Network イメージフォーマット [92.0 KB]

ダウンロード

国交省、福岡空港、民間資金で滑走路増設を検討

滑走路増設計画がある福岡空港について、国土交通省が滑走路と空港ビルの運営権を民間企業に売却し、売却益を増設費に充てる方向で検討を始めたことが19日分かった。財政難の中で国費負担を軽減したい考え。実現すれば運営権売却でインフラの建設費を賄うのは初めてとなる。

西日本新聞によると、国交省の試算では、福岡空港の実質的な収支は2010年度で7億円の赤字だが、年間84億円に上る借地料などを除けば70億円以上の黒字に転換するという。このため、借地料は国が負担したまま、運営権を売却する手法が有力。売却益を増設費の一部に充てたり、増設まで民間企業に任せた上で運営権料を軽減したりする方法が考えられるという。ただ、売却先の候補や売却額などは何も決まっていない。

計画される新滑走路は全長2500メートル。建設費は1800億円で、うち国負担は1200億円。増設すれば発着可能回数は、現在の年14万5千回から年18万3千回に増える。2015年度の着工を目指し、環境影響評価(アセスメント)が進められている。

(西日本新聞)7/20

[http://www.nishinippon.co.jp/mnp/f\\_sougou/article/27769](http://www.nishinippon.co.jp/mnp/f_sougou/article/27769) (-> [http://www.nishinippon.co.jp/mnp/f\\_sougou/article/27769](http://www.nishinippon.co.jp/mnp/f_sougou/article/27769))

(日経)7/19

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC1801K\\_Y3A710C1MM8000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC1801K_Y3A710C1MM8000/) (->

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC1801K\\_Y3A710C1MM8000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC1801K_Y3A710C1MM8000/))

政府、政府専用機、MRJ導入も検討

政府が中近距離用の政府専用機として、三菱航空機が開発中の国産小型ジェット機「MRJ」(三菱リージョナルジェット)の導入を検討していることが分かった。国内視察やアジア近隣を中心とした官邸外交での活用を想定している。

政府専用機は現在、航続距離の長いボーイング747の2機体制。航続可能距離が6300キロとされるMRJが導入されれば遠距離用と中近距離用の2本立てになる。

(産経ニュース)7/20

<http://sankei.jp.msn.com/politics/news/130720/plc13072002000001-n1.htm> (->

<http://sankei.jp.msn.com/politics/news/130720/plc13072002000001-n1.htm>

(47NEWS)7/20

<http://www.47news.jp/CN/201307/CN2013071901001835.html> (->

<http://www.47news.jp/CN/201307/CN2013071901001835.html>)

#### エアバス、2013年、受注目標1000機超に引き上げ

(ロイターによると)

欧州航空防衛大手EADS傘下のエアバスのジョン・リーヒー顧客担当最高執行責任者(COO)は19日、2013年の受注目標を800機超から1000機超に引き上げたことを明らかにした。

リーヒーCOOはロイターに対し、昨年の総受注獲得数である914機を上回る見通しだと述べた。

今年上半期でのキャンセルを差し引く前の総受注は722機となり、これに加えて100機余りの仮注文がある。

競合する米航空機大手ボーイングは年初から7月半ばまでの総受注が859機になったと公表している。

(ロイター)7/19

<http://jp.reuters.com/article/companyNews/idJPL4N0FP3G420130719> (->

<http://jp.reuters.com/article/companyNews/idJPL4N0FP3G420130719>)

#### ボーイング787関連; AAIB、ハネウェル製ELT、使用停止を勧告

(AFPによると)

ロンドンのヒースロー空港で起きたボーイング787型旅客機「ドリームライナー」の出火事故について、英航空事故調査

委員会 (Air Accidents Investigation Branch、AAIB (-> [http://www.afpbb.com/index.php?](http://www.afpbb.com/index.php?module=Linkword&action=Redirect&type=&word=%22AAIB%22)

[module=Linkword&action=Redirect&type=&word=%22AAIB%22](http://www.afpbb.com/index.php?module=Linkword&action=Redirect&type=&word=%22AAIB%22)))は18日、航空機用救命無線機 (ELT) が原因だった可能性が高いと発表し、全てのB787に搭載された同機器の使用を停止するよう勧告した。

AAIBによると、同型機に搭載された米ハネウェル (Honeywell) 製ELTを検査した結果、「バッテリーの破裂を示唆する結果が得られた」という。

今後、さらなる調査が行われる予定だが、AAIBはB787に搭載された全てのハネウェル製ELTを取り外すよう勧告。航空規制当局に対し、他の型の航空機に搭載されたリチウム電池を使った機器の検査を要請した。

ボーイングは、この勧告を支持するとの声明を発表。「調査が進められる間の合理的な予防措置だと受け止めている」と述べている。

(AFP) 7/19

<http://www.afpbb.com/article/disaster-accidents-crime/disaster/2956620/11053333> (-> <http://www.afpbb.com/article/disaster-accidents-crime/disaster/2956620/11053333>)

(朝日新聞)7/19 国交省の対応待ち: 全日空・日航は自主点検で異常なし

<http://www.asahi.com/national/update/0719/TKY201307190045.html> (->

<http://www.asahi.com/national/update/0719/TKY201307190045.html>)